

世界から世界へ  
食産業と消費者のニーズとソリューションをつなぐ架け橋に

# Wismettac Letter

ウィズメタックレター

## Business Report

ビジネスレポート 2022.1.1-2022.12.31



もっと  
知りたい!

## 西本Wismettacホールディングス

今回は**香港**における事業戦略をご紹介します

### 香港でのWismettacグループについて

～日本ブランドを活かしたマーケティングと商品開発を強化～

私達の香港の拠点である慧思味達日本食品有限公司 (Wismettac Nippon Foods Co., Ltd.) は、2016年に当社のグループ会社となりました。日本食品の輸入卸会社であった同社の買収は、アジア地域での販売強化に貢献しています。現在、日系の日本食レストラン、大手スーパーマーケット、大手ECを中心に、乳製品、鶏卵、肉製品、水産品等を販売しています。

新型コロナウイルス感染拡大以降、外食産業への厳しい営業規制が敷かれたことで、日本食レストラン向けの販売は厳しい状況に陥りました。しかし、内食や中食需要の拡大を好機と捉え、乳製品や鶏卵などを中心とした一般消費者向け食品・食材の販売に力を入れたことで、スーパーマーケットやEC向け売上を伸ばすことに成功しました。

日本食に対する需要が強い市場において競合他社も多く存在する中、日系メーカー様と協働して広告宣伝を行い、中期的な目線をもって地道に市場開拓していくこと、また、すでに普及している食品・食材については、グループのPB (プライベートブランド) 開発ノウハウを活かすことで、顧客にとって付加価値の高いパートナーとなっていくことを目指しています。



慧思味達  
日本食品有限公司

### 香港市場の特徴 ～親日家、アッパー所得層を多く抱える有望市場～

香港は、新型コロナウイルス感染拡大前の2019年までは、人口約750万人に対し毎年220万人もの人々が訪日するほど、日本に対する関心が高い国です。

日本食への関心も非常に高く、高級レストランだけでなく、日系の大手チェーンも進出し、数多くの店舗を展開しています。また、小売業でも日系のスーパーマーケットやコンビニが進出し、日本食の取扱量は年々増加しています。

このような日本食消費の裾野の広がりや地理的距離の近さを理由に、日本からの農水産物の輸出額は中国に次いで多く、乳製品や鶏卵が上位品目に入ることが特徴です。

写真は、キャラクターデザインを使った九州・熊本産の乳製品の広告宣伝の様子です。このような宣伝効果が期待できることも、日本への関心が高い香港市場ならではのポイントです。



## トップメッセージ

株主・投資家の皆様におかれましては、日頃から格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

私共Wismettacグループは、上場来最高の売上高と利益をもって、創業110周年の節目となる2022年度を締めくくらせて頂きました。これも、株主の皆様ならびにお取引先様をはじめとするステークホルダーの皆様の日頃からのご支援によるものと、改めまして心より感謝申し上げます。

世界は今、大きな政治的転換期と経済的構造変化を同時に迎えております。地政学リスクの顕在化、社会的分断の深まり、環境問題のクローズアップ、そして革命的な技術の進化。これらの多様、かつ大きな変化に直面し、食の産業のあり方も根底からの変革を求められていると、私共は考えております。

その様な中、食のグローバルカンパニーとして果たすべき使命は何か、当社グループが目指すべきミッション、ビジョンが改めて問われております。その問いに対する答えとして私共は、食の世界において、様々な課題を抱えながら、それらを解決する手段をもたない事業者・個人、また、新たな付加価値を生む技術を有しながら、それらを事業化・収益

化に繋げる手段をもたない事業者・大学等の研究施設に対して、当社グループが培ってきたクロスボーダーのネットワークを前提に、デジタル技術、フードテック、そしてリアルの販売・調達・物流力を用いて最適化されたソリューションを提供する国際的事業体への進化を目指してまいりたいと考えております。

私共Wismettacグループは、次なる100年、最新のテクノロジーとリアルの融合を基本とする食のグローバルカンパニーとして揺るぎない信用を築き、飛躍的な成長を遂げるため、そして、当社グループのパーパスでもある、食の世界に携わるあらゆる人々が、豊かな暮らしを送れる理想を実現するために、食における国際ソリューションカンパニーとして、確固たる信念と決意をもって、この歴史的変化の時代のフロントランナーとなってまいります。

皆様におかれましては、何卒引き続きご支援を賜りたく、心よりお願い申し上げます。

代表取締役会長 CEO 洲崎 良朗  
取締役 社長執行役員 COO兼CFO 佐々 祐史

## 2022年12月期の事業の概況

2022年度の業績は、売上高は2,752億円(前期比620億円増)、営業利益は105億円(同32億円増)、経常利益は108億円(同36億円増)、親会社株主に帰属する当期純利益は68億円(同18億円増)と、前期比で大幅な増収・増益となりました。

当社の主力であるアジア食グローバル事業が売上高・利益ともに大きく伸長し、グループ全体としても、売上高および

各利益は、いずれも過去最高の実績を達成することができました。

アジア食グローバル事業は、主に北米において好調な業績が続き、売上高・利益ともに前期比で大幅な増収・増益となりました。急激なインフレの進行やエネルギーコストの上昇等により、物流費を中心に費用が増加する中、適切かつタイムリーな価格調整の実施によって一定の利益率を維持したことや、円安による為替換算の影響も寄与しました。

一方、農水産商社事業は、2022年1月にシンガポール大手青果卸売業者であるBan Choon Marketing Pte. Ltd.を連結子会社化したことが寄与し、前期比で増収となりました。一方、急激な円安進行や物流の混乱等が利益面に及ぼす影響は大きく、仕入価格の高騰や物流関連費用の増加による価格競争力の低下、量販店等における取扱量の減少等により、前期比で大幅な減益となりました。

### 2022年12月期 経営成績

売上高	2,752億円
営業利益	105億円
経常利益	108億円
親会社株主に帰属する当期純利益	68億円

バランスシートについては、売上の伸長や為替換算の影響、また、今後の業況拡大および金利上昇を見込んだ長期借入の実施等により、資産・負債ともに増加しました。不安定な物流状況下での安定供給を目的とした在庫の積み増し、

円安の影響等により、棚卸資産は前期末比で増加しておりますが、引き続き適正な在庫管理に努めております。これらの結果、期末の自己資本比率は40%となり、健全な財政状態を維持しております。

## 2023年12月期の取組みと見通し

2023年度の通期連結業績につきましては、売上高3,040億円(前期比288億円増)、営業利益110億円(同5億円増)、経常利益110億円(同2億円増)、親会社株主に帰属する当期純利益73億円(同5億円増)を見込んでおります。なお、為替レートは1米ドル=130円の想定としております。

コロナ禍からの本格的な需要回復の動きや物流混乱等の影響も未だ大きかった2022年度に対し、2023年度は需給バランスの正常化に向かう局面での利益率の低下や、インフレ加速による販管費の増加等、外部環境の変化による影響も想定されます。引き続き変化の激しい事業環境下ではありますが、前期比での増収・増益を全社で目指してまいります。

当社の業績を牽引するアジア食グローバル事業においては、調達原価の上昇や物流関連費用の増加等によって、2022年度と比べては利益率がやや逡減することが見込まれること、また、急激なインフレ進行等により、一部地域では消費鈍

化等の動きが見られる一方、日本食をはじめとするアジア食市場そのものは、今後も世界各地で着実に拡大していくものと考えております。アジア食市場の成長を取り込み、当社シェアの拡大を図ることによって、2022年度を上回る収益確保を目指してまいります。

農水産商社事業については、2022年度は厳しい業績となりましたが、営業力の強化、適正な販売価格の設定、仕入原価や費用の見直し等に係る施策を推進し、収益性の改善を図ってまいります。輸入青果販売事業の収益回復とともに、国産青果の輸出事業等、農水産商社事業における新たな取組みも推進してまいります。

また、既存事業の基盤強化とあわせて、食産業に変革をもたらすソリューションを発掘・展開する新たなビジネスモデル構築に向けて、2023年度も投資や取組みを継続してまいります。

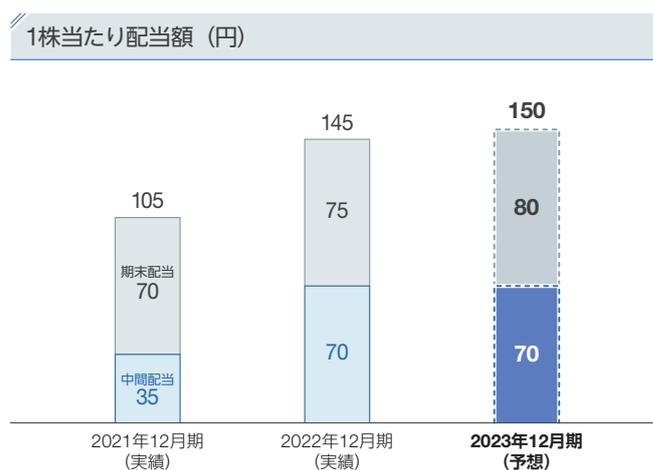
	2022年12月期 実績	2023年12月期 予想	
売上高	2,752億円	3,040億円	+288億円
営業利益	105億円	110億円	+5億円
経常利益	108億円	110億円	+2億円
親会社株主に帰属する当期純利益	68億円	73億円	+5億円

## 株主の皆様へ

当社においては、将来の事業展開と財務体質強化のための内部留保を確保しつつ、安定的な配当を継続して実施することを株主還元の基本方針としております。また、配当性向を重要な指標とし、通期で30%程度の連結配当性向を目安としております。

この基本方針をふまえ、通期連結配当性向30%を維持し、2022年度の配当額は通期で1株当たり145円、期末配当としては1株当たり75円とさせて頂きました。通期配当額は昨年度の105円を大きく上回り、上場以来最高となります。

また、2023年度の配当予想については、株主還元の基本方針や通期業績予想等を勘案し、中間と期末でそれぞれ1株当たり70円と80円、年間配当は合計150円を予定しております。





# 世界の西本Wismettac

西本Wismettacグループは世界中で事業を展開しております。

Vol.10

香港

慧思味達日本食品有限公司 (Wismettac Nippon Foods Co., Ltd.)

## Q) 慧思味達日本食品の強みや注力商材を教えてください。

当社は、日本および中国をはじめとするアジアでの強力な調達ネットワークを活かして、レストラン、グローサリー、ケータリング向けの日本食販売に注力しています。特に日本食レストランの仕入活動の様々なニーズに対してトータルソリューションを提供できることが強みで、幅広い商品(刺身用食材、冷凍肉、牛乳、卵、調味料、酒類)を、お求めやすい価格で、お店までお届けすることができます。

提案力に優れた7名の営業メンバーと、自前のトラック・倉庫と外部委託をバランス良く組み合わせた効率的な物流体制によって、お客様の要望に臨機応変に対応しながら、質の高いサービスを提供しています。



Managing Director  
Henry Yim

## Q) 事業を通じて目指しているビジョンについて教えてください。また新たな販売チャネルの開拓など、今後どのような施策によって慧思味達日本食品の事業規模を成長させていきたいと考えているか、教えてください。

当社は、日本産の卵や豚肉、新しい銘柄の日本酒や水産物等の新商品を投入し、新たな取引先を増やすことで、過去3年間で売上高をほぼ2倍に伸ばすことができました。新規先の獲得件数は、毎月平均して10~15先にもなります。

今後は、コンビニエンスストアや日本食以外のレストラン、老人ホームや病院等、新たなチャネルを開拓し、顧客数を増やしていく予定です。商品面では、水産加工品や新しい銘柄の日本酒やウイスキー、卵加工品、医療用やわかさ食など、新しいカテゴリーの商品を充実させていきます。

それ以外にも、自社ECサイトを立ち上げ、一般消費者に商品を直接販売することも検討していきます。



Sales & Marketing  
Executive  
Bonnie Lam

## Q) Sales & Marketing Executiveとしての業務内容を教えてください。

私は、営業 & マーケティングの二つの部門の責任者を担っています。

日本食レストランやグローサリー、食品メーカーやEC業者等の既存顧客との関係深耕や新規顧客の開拓が私の仕事です。最近では日本で開発したやわらか食の販売先として病院の新規開拓も始めています。

マーケティング業務は、まだ立ち上がったばかりですが、PB「Shirakiku®」の各種商品パッケージデザイン、商品カタログやポスター作成のほか、ブランド認知向上のために公共交通機関やYouTubeを活用した広告企画の立案・実行を担っています。

## Q) この会社に入社してよかったと思えた出来事について教えてください。

新規のお客様のところに訪問する際に、当社「Wismettac」という社名を伝えると、非常に高品質な商品を提供している企業と言ってもらえることが多く、当社で働いていることを非常に誇りに思います。

お客様の要望にあわせて、クリスマスや旧正月などの休日に対応が必要になることもありますが、レストランでの食事やスーパーでの買い物等、人々が心豊かな休日を過ごすために必要な商品供給の一端を担う仕事に携わっていることは、社会に対する貢献度も大きいと感じています。

### NEWS & TOPICS

#### 次号「Wismettac Letter」につきまして

これまで「Wismettac Letter」を郵送しておりましたが、株主総会資料の電子提供制度が開始されることや地球環境を配慮した省資源化の観点から、次回より郵送を取りやめ、会社ホームページへの掲載のみとさせていただきます。株主様におかれましては、何卒ご理解いただけますよう、お願い申し上げます。

## 株主優待のご紹介

株主の皆様の日頃のご支援に感謝し、年1回株主優待を実施しております。



### ▶▶ 株主優待制度の概要

#### ① 対象となる株主様

毎年12月末日現在の当社株主名簿に記載または記録された、当社株式1単元(100株)以上を保有されている株主様

#### ② 優待の内容(2022年度)

当社グループが運営する商品購入サイト「NISHIMOTO WORLD GIFT」でご利用いただけるクーポンコード(1クーポンコード=3,000円相当)を記載した優待券を、定時株主総会決議のご通知に同封し、贈呈いたします。

保有単元数(保有株式数)	クーポンコード個数
1~3単元(100株以上400株未満)	1個(3,000円相当)
4~6単元(400株以上700株未満)	2個(6,000円相当)
7単元以上(700株以上)	3個(9,000円相当)

※1回の商品ご購入で、1クーポンコードのみご利用いただけます。

WebサイトURL

<https://www.hello-worldgift.com/>

スマートフォン・携帯電話はこちらからアクセス



★初めてご利用の方は会員登録が必要です



2022年12月末日時点の株主様にご送付するクーポンコードのご利用期間 **2023年4月~2023年12月末日**

お問合せ先

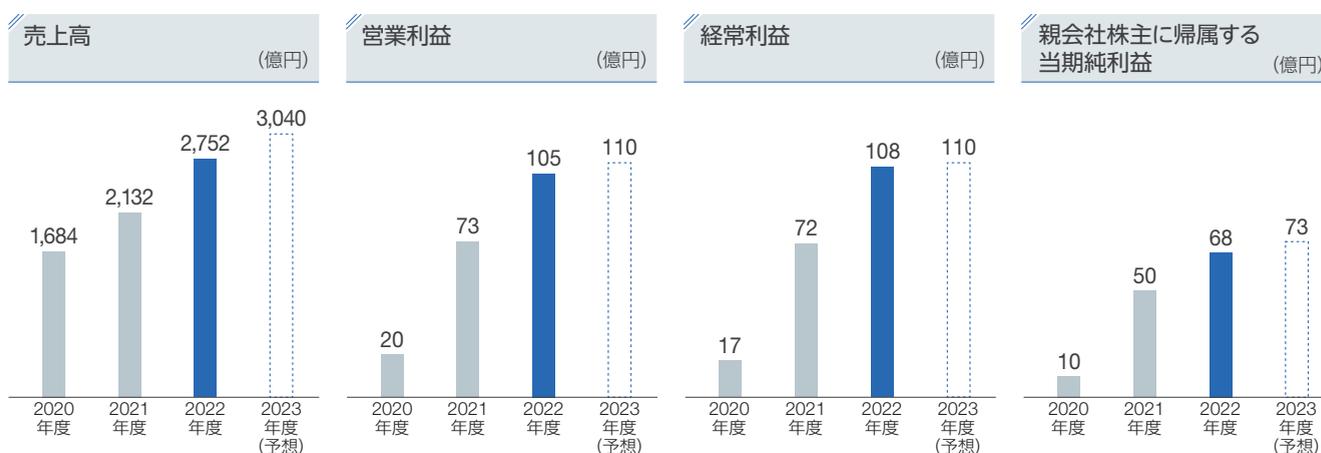
Wismettacフーズ株式会社ワールドギフトカスタマーサービス

**0120-096-810**

9:00~17:00  
(土日祝、年末年始休業日を除く)

# 連結財務ハイライト

		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度(予想)
売上高	(億円)	1,684	2,132	2,752	3,040
営業利益	(億円)	20	73	105	110
経常利益	(億円)	17	72	108	110
親会社株主に帰属する 当期純利益	(億円)	10	50	68	73
純資産	(億円)	508	599	720	—
総資産	(億円)	1,136	1,418	1,792	—
1株当たり純資産	(円)	3,515.28	4,141.34	4,984.67	—
1株当たり当期純利益	(円)	70.80	350.34	474.87	508.61
自己資本比率	(%)	44.4	41.9	39.9	—
ROE	(%)	2.0	9.2	10.4	—



## 2022年12月期 セグメント別の概況

売上高構成比 (%)



## ホームページのご案内

当社のホームページでは、事業内容やニュース&トピックス、西本Wismettacグループの概要についてご紹介しています。また、株主・投資家情報のページでは最新の財務・業績の情報のほか、IRに関するニュース、IRライブラリーなど様々な情報をご提供しています。是非一度ご覧ください。



西本ウィズメタック

検索

<https://www.wismettac.com/ja/index.html>

## 会社情報 (2022年12月31日現在)

## ● 会社概要

社名 西本Wismettacホールディングス株式会社  
(英名) Nishimoto Co., Ltd.

創業 1912年5月

本社所在地 東京都中央区日本橋室町三丁目2番1号  
日本橋室町三井タワー15階

資本金 2,646,177,532円

## ● 役員 (2023年3月30日現在)

代表取締役会長  
CEO 洲崎 良朗 社外取締役 新井 一

取締役  
社長執行役員  
COO兼CFO 佐々 祐史 取締役  
(常勤監査等委員) 西川 敏之

取締役  
副社長執行役員 新開 裕之 社外取締役  
(監査等委員) 能見 公一

取締役 辻川 弘 社外取締役  
(監査等委員) 大村 由紀子

## ● 国内・海外拠点

## 〈日本〉

西本Wismettacホールディングス株式会社  
● 東京本社、神戸本店 (※登記本店)

## Wismettacフーズ株式会社

● 東京本社、神戸本店 (※登記本店)、大田オフィス、大森オフィス、神戸支店  
株式会社プライベートポート

## 〈北米〉

## Wismettac Asian Foods, Inc.

- Los Angeles Office (Corporate Headquarters)、Arizona Office、Atlanta Office、Chicago Office、Dallas Office、Denver Office、Miami Office、Hawaii Office、Houston Office、Las Vegas Office、New York Office、San Diego Office、San Francisco Office、Seattle Office、Washington, DC office、Toronto Office、Vancouver Office、Montreal Office、Orlando Office、Boston Office (Satellite Office)、Sacramento Office (Satellite Office)、Calgary Office (Satellite Office)、Ohio Office (Satellite Office)、Raleigh Office (Satellite Office)

## 〈アジア〉

## Wismettacフーズ株式会社

- バンコク駐在員事務所、ホーチミン駐在員事務所、ソウル駐在員事務所

## 慧知旺食品商貿 (上海) 有限公司

## 愛品盟果業貿易 (上海) 有限公司

## NTC Wismettac Singapore Pte.Ltd.

## Ban Choon Marketing Pte. Ltd.

## 慧思味達日本食品有限公司

## 〈オセアニア〉

## NTC Wismettac Australia Pty Ltd.

- Sydney Office、Melbourne Office、Perth Office、Brisbane Office

## 〈ヨーロッパ〉

## NTC Wismettac Europe B.V.

## Wismettac Harro Foods Limited

## SSP Konsumgüter TRADE &amp; CONSULT GmbH

- Berlin Office

## COMPTOIRS DES 3 CAPS SAS

- Comptoirs Oceaniques
- Tropic Fish

## Sco-Fro Group Limited

## ● 株式の状況

発行可能株式総数 50,000,000株

発行済株式総数 14,353,140株

株主数 8,490名

## ● 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
多津巳産業株式会社	6,235	43.4
洲崎良朗	2,910	20.3
公益財団法人洲崎福祉財団	1,300	9.1
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	564	3.9
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE FIDELITY FUNDS	348	2.4
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	263	1.8
GOVERNMENT OF NORWAY	191	1.3
金井孝行	106	0.7
FIDELITY INVESTMENT TRUST : FIDELITY JAPAN FUND	95	0.7
BNYM RE BNYMLB RE GPP CLIENT MONEY AND ASSETS AC	92	0.6

(注) 持株比率は、自己株式220株を控除して計算しております。

## ● 株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎事業年度末日の翌日から3か月以内
基準日	12月31日
剰余金の配当の基準日	中間配当 毎年 6月30日 期末配当 毎年12月31日
1単元の株式数	100株
取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
公告掲載方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法によって行います。 公告掲載URL <a href="https://www.wismettac.com/ja/ir/e-announce.html">https://www.wismettac.com/ja/ir/e-announce.html</a>

## 世界の食の架け橋として貢献

## Wismettac (ウィズメタック) とは



「地球それ自体」と「Globalism」をイメージした2つの球体

- ・革新の「赤」+自然の「緑」
- ・「より健康で豊かな食生活へのあくなき挑戦の意思」

社名の「W」「M」「C」をモチーフとして造形化

【Wisdom】…西洋智

【Metta】…東洋智

(「パーリ語」: 優しさ/思いやり)

【Creativity】

…価値の創造力

## 西本Wismettacホールディングス株式会社

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町三丁目2番1号 日本橋室町三井タワー15階  
Tel: 03-6870-2015 Fax: 03-6870-2016

